

西中島地区防災計画



西中島地域活動協議会

目次

はじめに	1
地区防災の基本的な考え方	1
1 自宅での備え	2
被災時に頭に刻んでおく項目	3
災害発生時の行動フローチャート	4
2 非常持ち出し品チェックリスト	5
3 災害に備えた備蓄品リスト	6
4 我が家の防災メモ	7
5 - 1 安否確認カード	8
- 2 安否確認書	9
6 安否確認	10
- 1 非常時の通信手段	10
(1) 災害用伝言ダイヤル（171）	10
(2) 災害用伝言版の利用方法	11
災害用伝言版（web171）の利用方法	11
7 個別避難計画の概要	12
- 1 個別避難計画	12
- 2 要援護者	12
- 3 要援護者名簿	12
- 4 個別避難計画（表）	13
個別避難計画（裏）	14
8 在宅避難	15
9 西中島災害対策本部の設置・西中島避難所の開設	15
10 水害発生時の津波避難ビル	15
災害発生時の行動フローチャート	16
風水害時のフローチャート	17
風水害のタイムチャート表	18
11 地域自主防災組織	19
- 1 西中島地域における自主防災組織運営の要領	19
- 2 防災リーダー	19
- 3 各町会本部の防災組織	20
- 4 西中島災害対策本部組織	21
- 5 西中島避難所運営委員会	22
- 6 西中島災害避難所配置図	23
- 7 西中島災害避難所配置図1階詳細図	24
12 帰宅困難者対策	25
情報提供拠点及び一時滞在スペースの地図	26
13 西中島地域の防災に関する地図	27
西中島防災マップ説明・各町会地図説明	27
西中島防災マップ・各町会地図	28～41
14 もしものときに役立つ防災情報ツール	42

はじめに

「地区防災計画」とは

私たちの「命を守る」ため、地区の特性や想定される災害に応じて、平時の防災活動や災害時の行動を地区のみなさんで“考え”、話し合いながら“つくる計画”です。

地区防災計画の基本的な考え方

【背景】

スーパー台風、ゲリラ豪雨等、近年の異常気象によって、西中島地域で災害が発生する危険性が増してきています。

特に南海地震・東南海地震・東海地震が連動する連動型巨大地震（南海トラフ巨大地震）では、津波による浸水があった場合被災地域が広範囲となるため、行政による支援（公助）が開始されるまで、時間が掛かることも想定しておく必要があります。

【基本的な考え方】

まずは、**自分自身の安全**を確保してください。

次に、**家族・従業員の安全確認と安全確保（自助）**をしてください。

その次に、行政による支援（公助）が西中島地域に届くまでは、西中島地域の全住民・従業員が相互に助け合って（共助）安否確認や救出救助活動・災害対策本部の設置・避難所開設と運営を通じ、様々な困難を乗り越えて生き延びなければなりません。

行政による支援（公助）が始まった後も、西中島地域に必要な援助内容を行政に伝え、西中島地域に行政からの支援を届けるために、行政と連携して協働する必要もあります。

西中島地区防災計画では、先ず下記を確認

- 自分自身の安全確保
- 家族・従業員の安全確保

次に

- 町内の安否確認と安全確保
- 西中島災害対策本部の設置
- 避難所開設と運営

そして、行政との間で

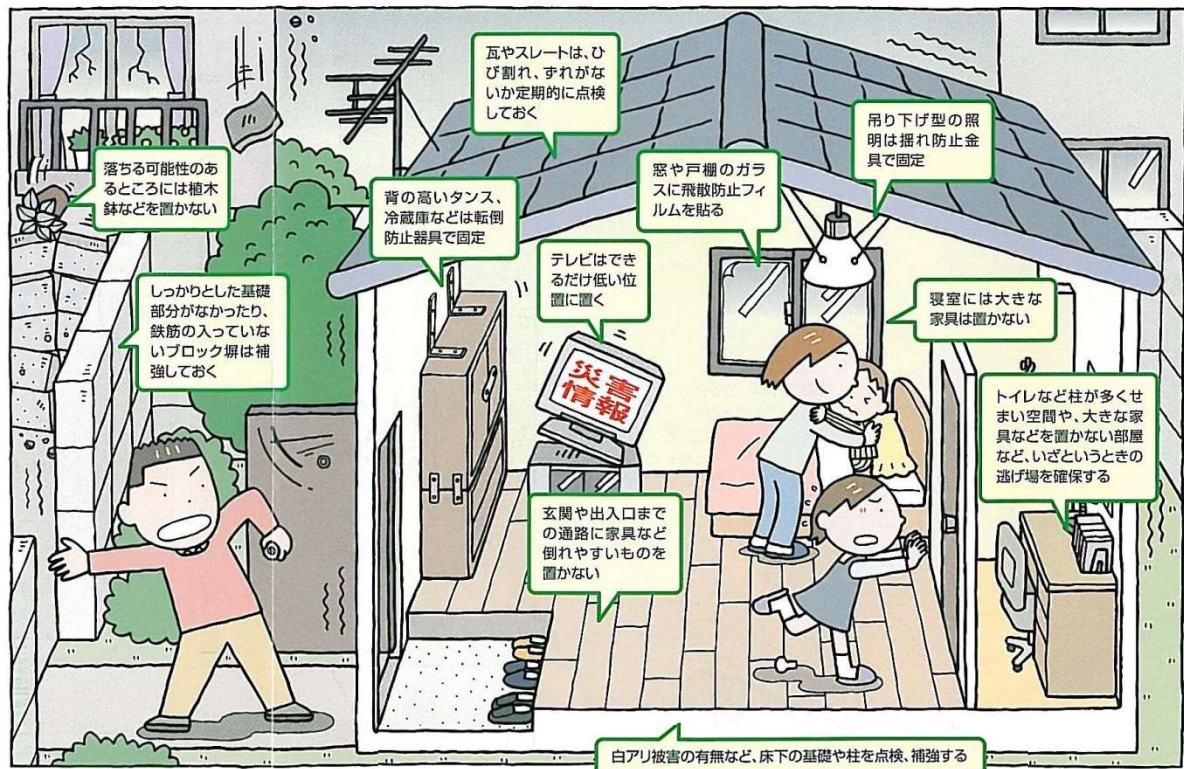
- 情報を交換して災害状況をいち早く把握する
- 必要な支援を得られる様に受援体制の整備する

上記内容を日頃より準備しておくことが肝要です。

1. 自宅での備え

自らの安全は、自らで守り、出来ない部分を共助でカバーすることが基本となります。

このため、まずは、身の回りの安全確保を図ることから始めて、発災後の対応に向けた準備を行うことが大切です。



地震・津波・台風・洪水で
被災することを想定して
常日頃、頭に刻んでおく項目

- 自分自身の安全確保
- ガスの元栓を閉める
- 電気ブレーカーを落とす

- 安否確認
 - ・家族の安否確認を予め決めておく
 - ・町会の安否確認は、玄関にタオル、マグネットで要表示
若しくはLINE グループで要連絡

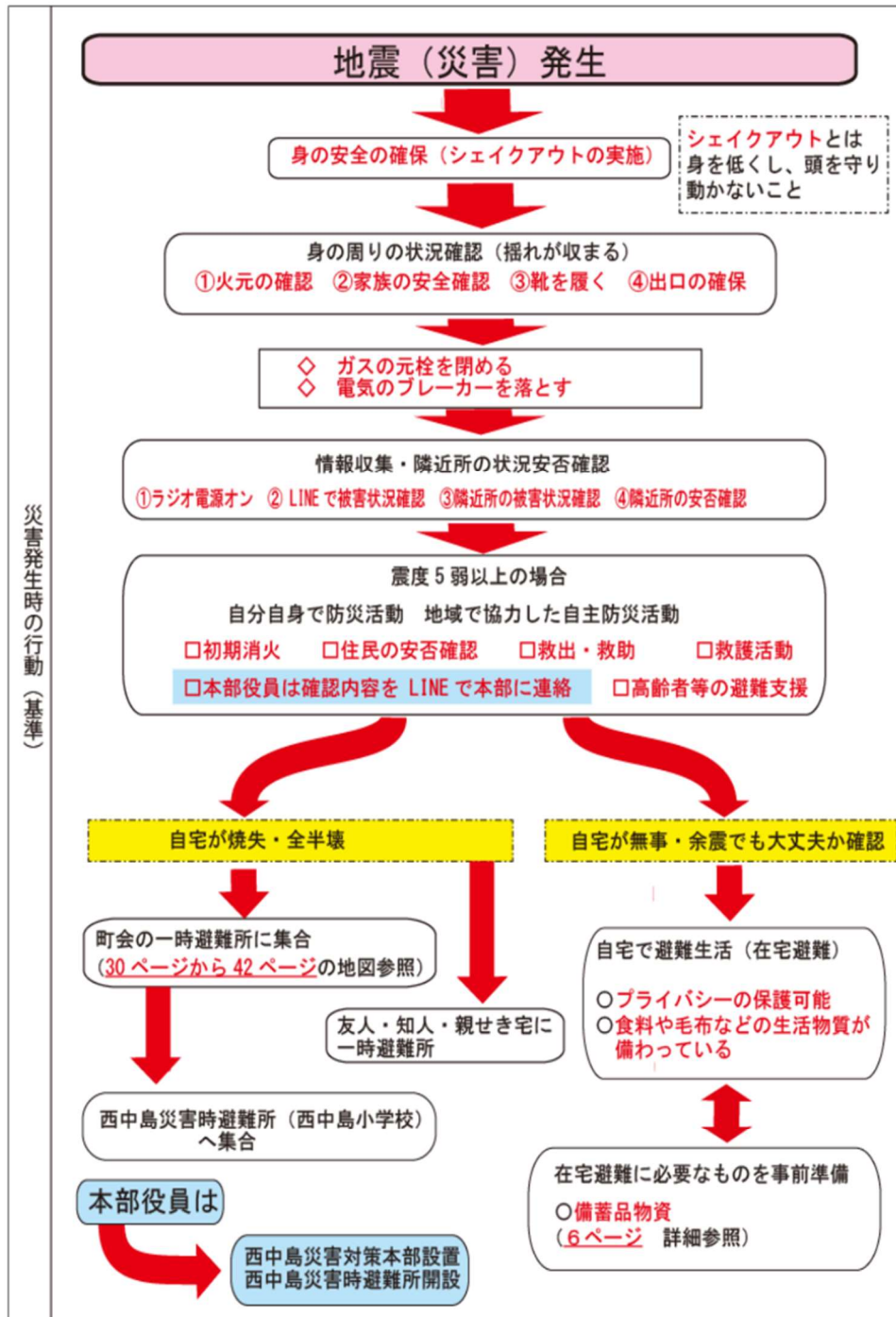
- 備蓄物資
西中島災害時避難所の備蓄物資は充分でないので、事前に自宅でも防災用具と備蓄物資を要保存

- 町会の一時避難所と西中島災害時避難所（西中島小学校）
及び近所の津波避難ビルの要確認

- 地域の防災訓練には毎回参加して新しい情報の要入手

【災害発生時の行動】（津波の場合は除く）

■ 地震発生時（西中島地域災害対策本部・西中島災害時避難所の初動活動・自宅避難フローチャート）



2. 非常持ち出し品チェックリスト

いざというときに備えるために、日常の生活の延長でできる範囲で、非常持ち出し品の準備や備蓄を行いましょう。

1年に2回は、チェックしましょう！

飲料・食品の賞味期限、薬品や電池の使用期限等をチェックして新しいものに交換しましょう。それぞれの品物が古くて劣化していないかを確認しましょう。

使い方を覚えよう、身につけましょう！

簡易トイレの使い方、ケガの手当の方法など、身につけておくと、いざというときに役に立ちます。

日用品の汎用性。工夫・知恵を知りましょう！

新聞紙、ラップ、ビニール袋など、日用的に使うものは、いざというときに役立ちます。それぞれの可能性を知り、実際に試してみましょう。

【非常持ち出し品チェックリスト】

- ☐ 非常持ち出し袋（リュックなど）
- ☐ 飲料水（500ml程度）
- ☐ 携帯食（チョコレート、キャンディー、栄養補給・調整食品など）
- ☐ ヘルメット・防災ずきん・帽子
- ☐ ホイッスル
- ☐ 手袋（作業用）
- ☐ 運動靴
- ☐ 懐中電灯（予備電池・電源も）
- ☐ 万能ナイフ類（ハサミ、ナイフ、缶切りなどの複合ツールが便利）
- ☐ ロープ（10m、救助、避難はしごの代用、体重を支えられる太さ）
- ☐ 携帯ラジオ（予備電池も）・発電携帯ラジオ（電池不要）
- ☐ 携帯電話（充電器・バッテリーも）
- ☐ 連絡メモ・備えリスト
- ☐ 貴重品（現金、身分証明書、通帳類、健康保険証、運転免許証、印鑑等）
- ☐ 筆記用具（メモ帳とペン）
- ☐ 救急用品（持病のある方は常備薬、お薬手帳等）
- ☐ 予備眼鏡、コンタクトレンズ（洗浄液含む）
- ☐ ふろしき（何かを包む、敷いて防寒対策など汎用性が高い）



3. 災害に備えた備蓄品リスト

食料品		* ()内は大人 1 人/3 日分の目安量	
☐ 飲料水 (9ℓ)	☐ 即席スープ (味噌汁)	☐ カップ麺 (1個)	
☐ アルファ化米・レトルトごはん (7パック)		☐ 野菜ジュース	
☐ 乾パン (1食)	☐ レトルト食品 (2パック)	☐ 調味料	
☐ 乾物	☐ 缶詰 (5缶)	☐ 嗜好品・お菓子	
日用品			
☐ レジャーシート	☐ サバイバルブランケット	☐ カセットコンロ	
☐ 簡易トイレ	☐ 筆記用具	☐ ガスボンベ	
☐ トイレットペーパー	☐ 懐中電灯	☐ 鍋	
☐ ウエットティッシュ	☐ ローソク・ライター	☐ コップ	
☐ タオル	☐ ロープ (5M~)	☐ ラップ	
☐ ポリ袋	☐ 携帯ラジオ	☐ アルミホイル	
☐ 現金	☐ 十徳ナイフ	☐ やかん	
☐ ガムテープ	☐ 非常用給水袋	☐ 皿 (紙・アルミホイル)	
☐ 毛布	☐ 新聞紙	☐ スプーン・フォーク	
☐ モバイルバッテリー	☐ 予備電池	☐ 割りばし	
☐ 油性ペン	☐ 軍手・手袋	☐ 使い捨てカイロ	
☐ 工具 (ジャッキ・バール)			
衛生・救急用品			
☐ 毛抜き	☐ ガーゼ (滅菌)	☐ 三角巾	☐ ドライシャンプー
☐ 消毒液	☐ 絆創膏	☐ マスク	☐ 常備薬・持病薬
☐ 脱脂綿	☐ 包帯	☐ 歯ブラシ・歯磨き粉	
☐ 生理用品			
必需品・貴重品類			
☐ 車・家の合鍵		☐ 健康保険証 (コピー)	
☐ 予備の眼鏡・コンタクト		☐ 運転免許証 (コピー)	
☐ 通帳 (コピー)		☐ パスポート・外国人登録証 (コピー)	

個人や家庭の事情に合わせ備えを検討するもの

乳幼児用品			
☐ 粉ミルク	☐ 抱っこ紐	☐ 紙おむつ	☐ ベビーカー
☐ 哺乳瓶	☐ 洗浄綿	☐ 母子手帳	
☐ おやつ	☐ バスタオル	☐ おもちゃ	
☐ 離乳食	☐ ガーゼ	☐ 着替え	
高齢者用品			
☐ 高齢者手帳	☐ 着替え	☐ 予備眼鏡	☐ 杖
☐ オムツ	☐ 持病薬	☐ 看護用品	☐ 入れ歯用洗浄剤
☐ 予備の補聴器	☐ おくすり手帳 (コピー)		

4. 我が家の防災メモ

ご自身で、また家族で話し合っ、災害への備えに役立つ情報を共有するため、書き込みをしてみましょう。

非常用持ち出し品の点検を行う際に、チェックし直すことで地域の情報なども確認できます。

【災害に備える、チェックリスト】

- ☐ 避難路を確認している。
- ☐ 地域の防災訓練に参加している。
- ☐ 応急手当の方法を知っている。
- ☐ 非常時の家族の連絡手順を確認している。
- ☐ 災害でケガをした時の救急病院の場所を知っている。
- ☐ 非常用持ち出し品の置き場所を知っている。
- ☐ 家具転倒防止の対策をしている。
- ☐ 飲料水など非常用備蓄を行っている。

【家族との確認事項】

家族の避難場所	
離れ離れになった時の集合場所	
いざという時の連絡先	
持ち出し品の置き場所	

名 前	生年月日	血液型	既往症	会社・学校等連絡先

5.個人情報シート

5-1. 下記は個人用の確認シートです。

このシートを家族分コピーして非常持ち出し品等の中に入れて災害時の安否確認に使用してください。

西中島地域 (町会)

《安否確認カード》 自宅 ・ 避難所

ふりがな ()	
お名前：	
性 別： 男 女	血液型： 型 (Rh + -)
ご住所：	
連絡先：	
生年月日：	T S H R 年 月 日 歳
一時避難場所： ()	
避難所： (西中島小学校)	
世帯状況： 人世帯 (構成：)	
その他	

5-2. 町会用安否確認書

自宅が焼失・全半壊で在宅避難が出来ない場合、町会の一時避難所、西中島避難所に避難する場合に次のページの安否確認書を持参して提出してください。

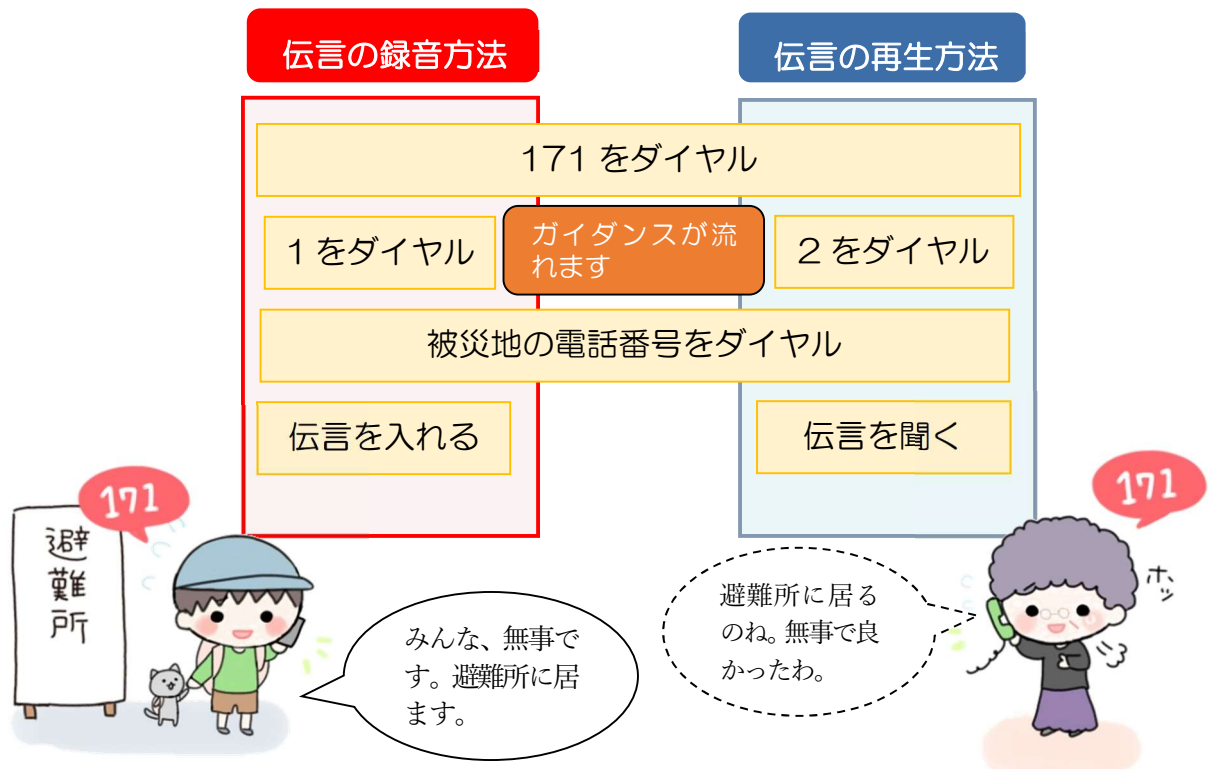
安否確認書 [町会 No.]								
世帯 No	家族名	No	年齢	性別	確認	要援護	負傷	備考
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				
				男・女				

6-1. 非常時の通信手段

災害時に、自らの安否発信を行うための、様々な伝言サービスが提供されています。事前に家族やご近所同士で、安否確認を行う方法を共有しておきましょう。

(1) 災害用伝言ダイヤル（171）

大規模災害時に被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。災害用伝言ダイヤル（171）は、被災地内の電話番号および携帯電話等の番号をキーとして、安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです。



※災害用伝言ダイヤル「体験利用日」に、家族・親戚・友人間で体験してみましょう。

【体験利用日】

- 毎月 1 日及び 15 日 00:00～24:00
- 正月三が日（1 月 1 日 00:00～1 月 3 日 24:00）
- 防災週間（8 月 30 日 9:00～9 月 5 日 17:00）
- 防災とボランティア週間（1 月 15 日 9:00～1 月 21 日 17:00）

(2) 災害用伝言

災害用伝言板（web171）の利用方法

パソコンやスマートフォン等から固定電話や携帯電話の電話番号を入力して安否情報（伝言）の登録、確認を行うことができます。

操作手順

1. URL : <https://www.web171.jp/>へアクセスします。
2. 連絡をとりたい方の固定電話番号や携帯電話番号を入力します。
3. 伝言を登録・確認することができます。（事前に設定することで閲覧者を限定することもできます。）

注意点

- 事前に設定を行うことで、登録した内容をメールまたは電話(人工音声)にて自動的に通知することができます。
- 災害用伝言板(web171)の利用料は無料です。なお、インターネット接続費用やプロバイダー利用料および、ダイヤルアップ接続の場合は通信料等が別途必要となります。
- 災害用伝言板（web171）は、NTT（東西）が別に提供している「災害用伝言ダイヤル」と連携しているため、それぞれで登録された伝言内容を、相互に確認ができます。

参考リンク

災害用伝言板(web171)の詳細については、運営しているNTT（東西）のページをご覧ください。

- NTT 西日本 <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

出典：総務省ホームページ を加工して使用

(http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/net_anzen/hijyo/dengon.html)

※体験版で確認しておきましょう。